

【ねがいはしては】

平成13年6月27日

第136号

KYOWA SCHOOL

「まじめさん」

「おひさしぶりです。」と、にこっと笑いながら、とても元気な様子。

Mちゃんは小学校2年生のときからの生徒。おとなしく、自分から積極的にしゃべるというような子ではありません。こつこつと7年間通い続け、2級まで取りました。

先日、生徒たちを連れて近くのスーパーへ出かけたとき、エレベーターの中で、「先生！」

「えっ、ああ、こんにちは。」おとなりにはお母さんなのでしょう。びっくりされた様子。

「そろばん塾です。お世話になっております。」

そして数日後、気になったのでしょうか、彼女から尋ねてきてくれました。

実は彼女は高校入学の時、『新入生総代の言葉』を高校側から頼まれ、私がその言葉を作成、渡してありました。彼女は、高校進学後しばらく姿を見せていませんでした。

「先生、あの言葉、とてもよかったです。特に、『勉強だけに留まらず・・・』のところが、高校の先生に褒められました。」 「良かったー！実は気になってたんだ。」

私にはこの25年間、ぶつぶつと言いつけてきたことがあります。『思いやりとやさしさを持つとう』です。この教室から、ちっぽけでもいいから発信し続けようと、今でもぶつぶつやっております。

「人が人の役に立って、初めて『人』なのらー。」 「まじめさんがみんな幸せになれるような世の中になったらいいよね。」などと、かつこのいいことばかり・・・。

「先生、1級受けていいですか。」 「ああ、どうぞ。受けたいときが合格できる時さ。ついこの前の検定でも、中3のYちゃんが、一発で3級合格したよ。」

私は何よりも嬉しいのが、このような『まじめさん』が、生き生きとしてくれる事です。

「いやー、実はさ。この中間テストでね、〇〇ちゃんが1位だったんだ。」 「あの、私も1位でした。」 「そうか、そうか。」 (なんと、高校生が中間テスト1位続出)

きっと彼女は1位を取ろうと思っていなかったと思います。今までどおりのまじめさんが、そうさせたのだと・・・。自分に負けないよう、自分に勝っただけ。

そろばんは、長い長いマラソンみたいな習い事です。今のように、即効性ばかりが最優先される時代には、ちょっと不利な面もあるかもしれません。でも、このようにしてこつこつとまじめに歩いてきた事が、『しあわせ』につながる事を、私は言い続けるつもりです。

私は今、パソコンで『絵本』をつくっています。その中の主人公も、まじめでめだたない『思いやりの固まりさん』です。そんな子達であふれる教室を夢見て、きょうもこつこつです。

本物の『しあわせ』・・・このようなものではないでしょうか。

絵本の中の一節です。

ぼくは「あったかさん」になっ

こんどは君のこと

あったかくする・・・

7月の予定・・・11（水）～15（日）珠算・暗算検定試験・・・KYOWA SCHOOL

夏の予定・夏の勉強室のお知らせは、別紙お渡しいたします。

数日お待ちください。